

























瀬添ようどれ 入口
開園 9:00 閉園 18:00 年中無休
園内での飲食はできません。
現金のみ受け付けます
観覧料
大人 100円
小人 50円
休園日 月曜日・年末年始
瀬添の自然公園











昭和9年頃の暗しん御門

撮影：田邊 泰

暗しん御門は、加工した岩盤と石積みでできたトンネル状の通路のことです。薄暗くひんやりとしていて、地下通路をとあって「あの世」に行くような雰囲気でしたが、沖縄戦で天井の岩盤は崩れてしまいました。

KURASHIN-UJO

photo by Yasushi Tanabe 1934

KURASHIN-UJO was the dark man-made tunnel-like passageway that seemingly took one to the "other side". The passageway roof was blown away during the Battle of Okinawa (WW II).





































伊波普猷（いはふゆう）の墓

伊波普猷は、明治九年に那覇に生まれました。沖縄尋常中学（首里高校の前身）を退学処分された後、本土に渡り三高（後の京都大学）から東京帝国大学に進んで言語学を修めました。東大在学中から、浦添が首里以前の古都であったことを最初に論じた「浦添考」など、すぐれた論文を発表しています。

帰郷して県立図書館長となった伊波は、歴史研究のかたわら、琉球処分後の沖縄差別で自信を失った県民に自信と誇りを回復する啓蒙活動を行います。大正十四年に再び上京しますが、戦争で米軍に占領された沖縄の行く末を案じつつ東京でじくなりました。その後、伊波の研究にゆかりの深い浦添の地に墓が作られ、永遠の深い眠りについています。

浦添市教育委員会







































浦添城の前の碑

この石碑は、一五九七年に浦添グスクと首里を結ぶ道路を整備した時の竣工記念碑です。石碑の表に平仮名の琉球文、裏に漢文で、尚寧王の命により国民が力をあわせて石を積んで橋を架け、岩を刻んで道路をつくったことが記されています。碑首は、一六世紀の琉球王国の象徴文様である日輪双龍雲文で飾られています。石碑の前の大きな石は、「馬又イ石」と呼ばれ、馬に乗るための踏み台といわれています。もとの石碑がさる沖縄戦で台座もろとも破壊されたため、一九九九年に復元しました。

浦添市教育委員会



This stone monument was erected in 1597 to commemorate the completion of the road from Shuri to Urasoe-gusuku. On it was inscribed that King Shōnei had his people construct the road and bridge out of limestone. The emblem of the Ryūkyū Kingdom is inscribed on top of the monument. The large stone in front of the monument is a stool called an 'uma-nui-ishi' that was used to help ritual officer climb up on their horse. The original monument was destroyed during the Battle of Okinawa in 1945, and it was reconstructed in 1999.

Urasoe City Board of Education





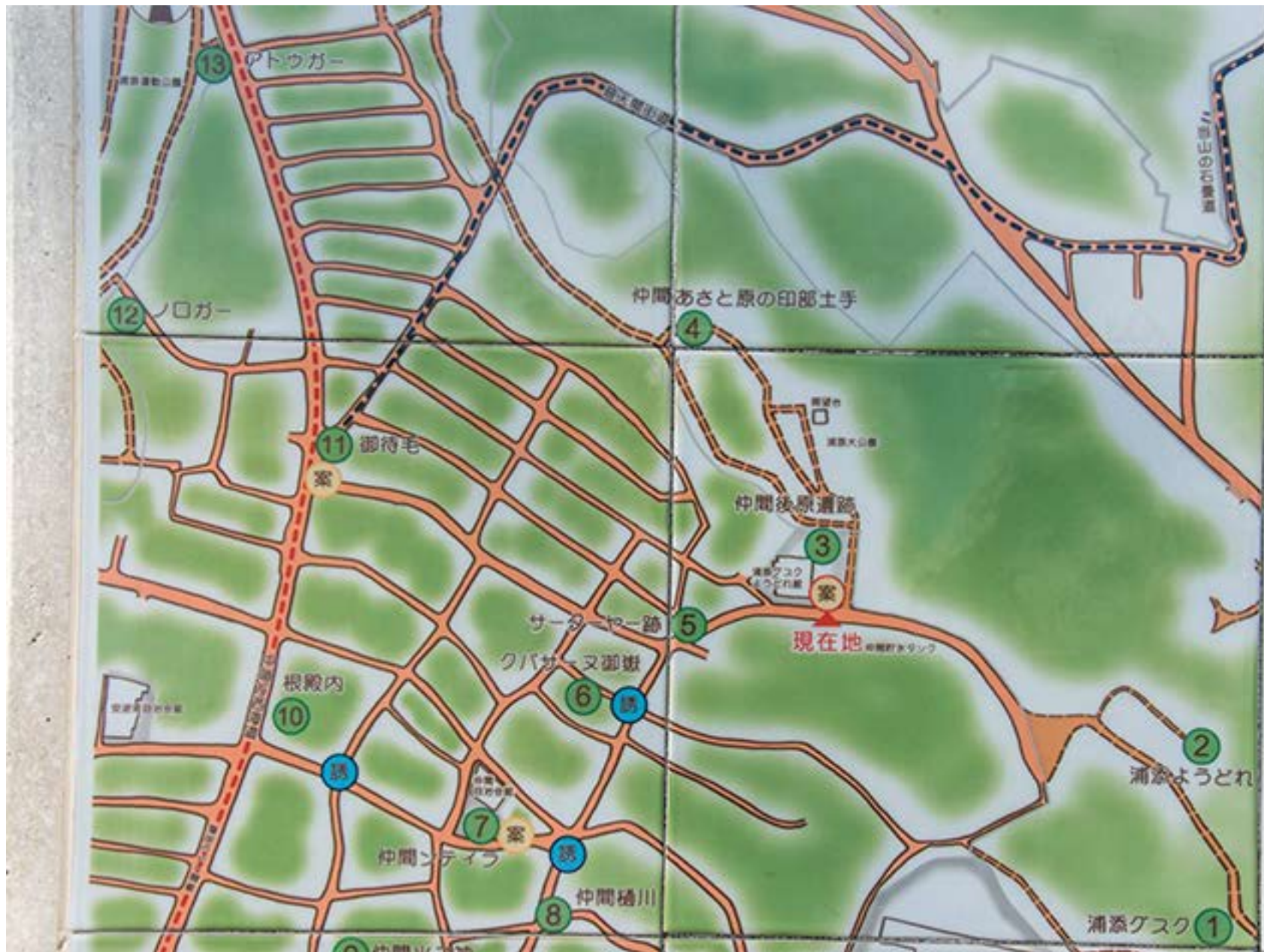












で登場しま
治行政の中
また、首里
満宮への道
ました。

仲間集落に
ようどれ、仲
化財が点在し

① 浦添グスク (ウラソエグスク)

13-14世紀に築かれた
壁の石積みや敷石などが
跡や井戸などの遺構がある



③ 仲間後原遺跡 (ナカマコウハラ)

13-14世紀頃の集落
や集落の内外を分けたとみ

④ 仲間あさと原 (ナカマアサト)

18世紀に行われた、土
一つです。

⑤ サーターヤー跡 (サターヤー)

サターヤーとは製糖所
集落には多くあり、集





